第１回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日　時】 平成 27 年 10 月 30 日（金）　 午後 6 時 00 分～午後 7 時 25 分
【場　所】 役場（大会議室）
【出席者】 委員～15 名（欠席 3 名）　 町～7 名

委員	太田裕治	○	中村尚子	○	山口俊哉	○	佐々木修	×	橋本ミエ	○
	萬 由美子	○	長屋高史	○	東藤勝行	○	梅本てる子	○	田尻　弘	○
	三原　新	○	杉本雄馬	×	河原　唯	×	田口友子	○	福塚智美	○
町	北町長、三本副町長 事務局：相澤課長、松本主幹、井内主事、菊地主事、高橋主事									

1.　開会　相沢課長

本日、３名の委員が欠席、梅本委員は仕事の関係で遅れるとお聞きしており、全員揃いましたので開催させていただきたいと思います。私は、まちづくり町民委員会の事務局を担当しています相澤と申します。

第４期まちづくり町民委員会の第１回目ということで、事務局側も自己紹介をさせていただきますが、委員の皆さんにもそれぞれ自己紹介をいただきたいと思います。

2.　委嘱書の交付　　各委員に委嘱書を交付（机上）

3.　町長　あいさつ（資料１　町政運営等に関する主な動向を兼ねて）

お仕事で、お疲れのところ、お集まりいただき、たいへんありがとうございます。

町民委員会は、平成 17 年、奈井江町まちづくり自治 基本条例の 制定の際に、町政全般に亘る議論を行ない、町長へ提言する会議として制定されたものであり、早くも第４期を迎えることになりました。

今までの委員会の中では、子ども医療費の無料化や「認定子ども園」、「みなクル」の建設、また今年度からスタートした奈井江町の 10 カ年間に亘る町の総合計画である「第６期 奈井江町まちづくり計画」の策定においても、貴重なご提言を賜りました。

第６期においては、これまで取り組んできた保健・医療・福祉の継続に加え、少子化、過疎化に対応するまちづくりを重点課題として、住宅施策や子育て支援、教育の充実など、第 3 期の町民委員会の皆さんにも多くのご意見を頂きながら、新たな取り組み、大幅な見直しを行い、若い人たちに住んでもらえる魅力ある まちづくりに意を用いた計画を策定しました。

第 4 期の皆さんには、この第 6 期計画の事業評価といいますか、検証、見直しにもご協力頂きながら、効率的、効果的な事業展開をして参りたいと考えておりますし、現在、町で作成中の地方創生に係る総合戦略についても後日、ご意見を頂きたいと考えており、今回の委員会では、15 名の委員を 2 つの班に分け、そこに担当職員も入りながらグループワークを行い、意見交換をして参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、ここからは、具体例を挙げながら、ここ最近の町政運営の動向について申し上げたいと思いますが、始めに「住宅施策」についてです。

北町あった１戸建ての旧教員住宅は、希望者多数により抽選にて即日完売。
マイホーム取得に係る助成制度についても、２から３倍に増額し、町内外から問い合わせが続いており、若年世帯、子育て世帯の流出防止や移住促進の効果が発揮されていると感じているところです。

地域コミュニティの再構築ということで、交流プラザ「みなクル」において、10 月から、コミュニティ・カフェをオープンしました。

子どもから高齢者まで、連日、多世代に亘るご利用を頂き、現在のところ１日約 40 名、多い時では 70 名を超える利用者があり、大変好評を得ています。

次に基幹産業の１つである「農業について」でありますが、今年は、春先から天候不順が続いたため、たいへん心配をしていた所でありますが、くず米も少なく、量・質ともに、昨年を上回る出来と お聞きしています。

生産者の方々の努力が、消費者の皆さんに伝わり、今まで以上に高い評価を得て、奈井江産ブランドの確立が図られることを期待しているところです。

このほか、農協ストアーの建設が順調に進み、11 月 17 日にはオープンの予定とお聞きしており、買い物難民の大きな課題が解消されることになった。農商工連携のもと、多くの利用者で賑わうと共に、町営バスや「みなクル」と連動した安心して暮らせる環境整備に努めて参りたいと考えている。

広域行政と云う点では、老朽化、耐震化に課題のあった消防庁舎について、浦臼町とも協議を重ね、奈井江町・浦臼町の合同庁舎の建設に取り組んで参りましたが、10 月 1 日、新庁舎の開署式を迎えることができました。

最後に、情報発信の強化が課題としてあり、昨年度から検討を進めて来た町のホームページについて申し上げますが、子育て支援、定住支援をテーマの１つ掲げ、より見やすく、使いやすいものとするために役場の女子職員だけで検討委員会を作成し、議論を行って参りました。

新装となったホームページが、本日から見られるようになっておりますので、皆さんにも、是非、ご活用 頂きたいと存じます。

最後になりますが、本日より３年間、奈井江町の未来を、皆さんと共に考え、創り上げて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 自己紹介（各委員及び事務局）

5. 委員長、副委員長の互選について

（松本主幹）事前にお配りしています、資料１の第５条に委員会に委員長・副委員長をおくとしています。その選出方法としては、委員のみなさんの互選によって選任するとしております。

（町　　長）今ほど事務局から説明したとおり、第５条に基づきまして、委員皆さんの中から委員長・副委員長の互選をしていただきたいと思います。

（委　　員）高齢で新人の委員です。引き続き委員となっている方から選んで頂きたいと思います。

（委　　員）事務局で考えがありましたら、お聞きして協議したいと思うのですが。

（町　　長）それでは事務局より腹案がありましたら、お願いします。

（相沢課長）今ほど委員の方ら発言がありましたように、事務局としても慣れている方の方が良いと考えています。奇しくも前回の委員長の太田裕治さん、副委員長の中村尚子さんがおられますので、引き続きお二方にお願いをしたいと考えております。

（町　　長）今ほど事務局より提案がありましたが、皆さんどうでしょうか。

【委員より賛成との声】

（町　　長）それでは、事務局案のとおり決定とさせていただきます。

6. 委員長　あいさつ

委員会の設置や行うことなど、条例で決まっているレベルの高い組織と、委員から発言も有り、私自身、改めてしっかりやらなければと感じています。
このまちを良くしていきたいという思いは、皆さん一緒だと思います。
是非とも活発な意見を出していただきたいと思います。また、そのように進めるために、必ず委員からの発言を求めていきます。
３年間よろしくお願いします。

7. 議題

(1) 奈井江町まちづくり自治基本条例の概要について　【松本主幹説明】

資料２・３により説明

(2) 奈井江町まちづくり町民委員会の進め方について　【松本主幹説明】

資料４・５により説明

（相澤課長）第３期までの委員会は、このような形で並んでいただいて、私の方からこういう事を検討してくださいということで、皆さんから意見を貰うのですけが、第４期の委員会からは２つに分かれていただいて、委員さん同士で話もらえたらと思います。その後、こういう話をしたと全員で共有して、それを私どもに言っていただくという方法を考えています。
今日は、議題と言いながらオリエンテーションのような形になっておりますので、いろんなことを説明させていただき終わろうかと思っていますが、次回からは、説明をした後、グループワークでの意見をまとめる形の運営を考えたいと思っております。よろしくお願いします。

議題（１）（２）に対する質疑応答

（委 員 長）まちづくり自治基本条例の概要と、まちづくり町民委員会の進め方について、改めて説明いただいて、今後、こうしたグループ分けをして進めていきたいと思います。質疑応答ということですが、新規の方にご意見を賜りたいと思います。

（委　　員）私は、老人会から代表で出させていただいておりますから、老人を代表した意見を述べたいと思っております。今まで議員を始め、色々と社会経験してきましたので、その経験を活かし意見として述べていきたいと思っております。

（委　　員）私は砂川に住んでいたのですが、奈井江は住みやすく色んな情報を得て、実家が奈井江ということもあり、こちらにきたのです。他の地区、砂川しか知らないのですが、お母さん方の意見では、奈井江は凄く良いよねと言ってくれたりします。他の地域と比較して、子育ての面と女性として意見を言っていきたいと思います。

（委 員 長）今後、「奈井江のここがいい」という意見も期待しております。

（委　　員）条例の内容は当たり前のことというか、自分の住んでいる所なので、良くしたいし綺麗な町であって欲しいとか、関わりなどは自分の生活の中で条例等関係無く、自然に出来れば良いのにという気持ちがあります。
高齢化で若い人達がまちづくりに関わってくれないというイメージがあるのですが、奈井江に住んでいて、自分もここは関わっていると思うところで、皆さんが自然にもう少し関わっていけるような仕組み作りに、委員会の内容がなっていけばと思います。そこに自分の気持ちを重ねて意見を言わせていただければと思っています。

（委　　員）まちづくりの企画ですが、色々考えられてきますけども、それが持続しなければいけないと私は思います。１つ立ちあがっても発展していかない、そんな感じがします。色々枝葉をつけて大きくしていくと、町も良くなっていくのではないかと思うのです。なぜ奈井江は住みやすいのに、大きくならないのかなと思います。１つのことで皆さんが協力して、大きくして盛り上げられたらいいなと思います。

（委 員 長）是非、良いところを掘り起こして意見を交わしていきましょう。

（委　　員）農業を営んでいますが、奈井江に住んでいて他に離れなかったということは、住みやすい町なのかなと思っております。この場に参加させていただきましたので、気が付いたことがあれば提案していきたいと思います。よろしくお願します。

（委　　員）私は、障がい者代表で呼ばれたと思いますので、身体の不自由な方のしてほしいことが色々とでてくれば、皆さんにお願いをしたいと思います。

（委　　員）嬉しいと思うことは、「みなクル」にカフェができ、そのことで、皆でお昼に行ってみようと思っていることや、文化ホールが大好きで、そこには奈井江の人ばかりではなくて、違う地方からの方も結構見ます。このホー

ルの響きがいいから来てくれていると嬉しく思います。
地域で色んな会議に出るのですが、１人暮らしの方は「子供に迷惑をかけたくないので、ここで頑張っている。助けてね」と言います。それは違うと、子供さんにも少し相談しないといけないと思いますし、地域で出来ることにも限界があります。子供は親を見ながら生活してもらいたいなと感じております。

（委 員 長）新規の皆さんにご貴重な意見を賜り、できるだけ繁栄をしていきたいと思います。皆さんの意見をきちんと受け止めて、これから議論がもっと膨らむように進めていきたいと思います。それでは奈井江町第６期まちづくり計画の説明を願います。

(3) 第６期まちづくり計画について　【松本主幹説明】

第６期まちづくり計画により説明

（委 員 長）私が言うまでもないのですが、今後、人口が減って高齢化が進むということを皆さん認識された中で、このまちづくりを進めていこうという考えだと感じており、まずは率直な意見を賜ろうかと思います。

（委　　員）奈井江町の今の施策で住宅施策や奈井江商業高校に対する支援はヒットでした。こういうヒットする施策は今まで無かった気がします。ハズレでは道の駅とか、何かやっても事業自体が大きくならないということも中にはあると思います。私が関わってきた中でも、例えば昔キッパーズを呼びダンスパーティーを立ち上げたりとかしたのですけども、結局頑張ったけども途中で無くなってしまいました。新社会人コンサートは今も継続をしていただいていますが、ずっと平行線できているのかなと思います。中々ヒットする部分がなく企画が非常に重要だなと感じております。一番目を付けられたのが道の駅、奈井江の庁舎も大分ガタがきているというのもあり、前期の計画で色々やっていくことがあると思います。

（委 員 長）ヒット施策を生めるよう頑張っていきたいと思います。

（委　　員）今住んでいる方たちは、奈井江の魅力、住み良いなということはわかっているのです。子供達が卒業し出て行ったけど戻って来るという町がいいのかなと思います。１番思ったのが成人式は何もなく、ただ式を行い終わってしまうというのがあるので、魅力というものを帰ってくる機会に少し発信出来たらいいと思います。交流の場があったらと思うのです。何か戻ってくる人の為の魅力を発信していけたらと思います。

（委　　員）この前、みなクルで障がい福祉フォーラムがあり、講師の方など色々な面で考え取り組まれていると思いながら私も参加したのですが、もっとみなクルを活用して色んな行事などを行い、皆が行ってみたいと感じ、集まる

場に出来たらと思います。カフェもみなクルでコーヒーが飲めるよと言ったら、ちょっとした集まる場所にもなるのかなと感じています。今後、道の駅などについても考えてみたいと思います。

（委　　員）最初に町長の話を聞いた中で、北町の公宅が当たりました、コミュニティカフェが大盛況ですと、JA がオープン、消防もオープン、ホームページも新しくなった。本当に動きが新しくて良いなという風に思います。昨今、見ていますと新しい、良い政策があったとしても、他の町がすぐ真似してしまう。お金をかけてもっといいものに変えてしまう。そうしたら目立たなくなります。

何をするかということも勿論大事なのですけども、何かするとなった時には「よし、やろうよ」という気持ちをどう育てていくか、本当に少子化や人口減少を考えた時に、そこまで踏み込まないとダメだと思うのです。どうすればいいかについては条例に書いてあるのですが、これが条例になると寂しい気がします。確かにこの通りになればいいのですが、例えばパンフレットになり、回覧板で配られたからといって町民の意識は変わるはずがないと思います。どうやったら出来るかということを考えたいと思います。政策はお金で買えるけど、文化はお金で買えないと思っています。

（委 員 長）やはり私達この町民委員会の役割というのは、まちづくり計画に肉付け出来る可能性を持つのが、私たち委員会でもあるということです。当然のようにヒットするものを生み出さなければならない、施設の使い方についてはもう少しこういう事があるのではないか、人の気持ちをもっと盛り上げなければならないのではないか、そういう事をするためにはどうしたらいいのかなど、そこまでのことはこの文面では読み取れません。しかし、行わなければなければならないと思いますし、私達の役目だと思います。今日は初回ですが、皆さんのまちに対する思いは行政側にも伝わっているのではないかと感じています。

今後、まちづくり計画の議論は、グループ別けの中で進めていくとのことですので、皆さんにもご了承をいただき、具体的な施策をしっかりと議論していかなければと思います。その他で自由な感想や意見をいただきたいと思います。

（委　　員）今後、皆さんの肉付けに対して、いい発言を期待しております。私も発言したいと考えております。

（委　　員）漠然としていて何とも言えないのですが、議題の中で思い付く事があれば発言していきたいと思います。

（委　　員）障がいなどのことに対する条例が策定されていますが、よく周りの人に絵に描いた餅じゃダメだと言われています。行動など心のあることをしなければならないと思っています。この計画も同じだと思います。

（委　　員）色々聞かせていただき肉付けという意味で、色々思うところがあるので、今後、環境とか意見を交換できたらと思っています。

（委　　員）皆さんのお話で、道の駅がもう少しという声が聞こえてきて、私もそうだなと思っています。それと同時に、施設入口のサイネージ画像に奈井江の風景の絵を提供させていただいているのですが、町外の人が立ち寄って見てくれたことが切っ掛けかは不明ですが、今年はにわ山に来る人がすごく増えたと管理している方が言っていました。何か出来ることは活用していきたいと思っています。替りの方がいなければいけないと思いますが、管理会社を変えたりすることも有りなのではないかと思います。
その他で、Uターンで奈井江に戻ってきている方の名簿化や、集まりなどはあるのですか。

（相澤課長）今のところはないです。

（委　　員）地元に後で戻ってきた若者、３０代や４０代の力を集めて、同じ目線で一緒にできる仲間づくりが凄く難しいのです。奈井江は良い要素も沢山あって良い所です。私は自然も好きで、山も好きなのですが、同じ目線で一緒にやってくれる人を見つけるのが大変です。そうした方が町内に居ることが分かると、色々やり易いのではと思っています。

（委　　員）これからは、色々と考えていかなければならないことも一杯あると思うのです。今、私が１番考えてどうにかならないのかと思うのが、駅の階段です。私達や若い人達は車で美唄や砂川に行き、特急に乗るのですが、町内に住んでいる人は、年配の人が多くなります。膝の悪い人が多くなってきますので、もう少し幅が広く出来ないか、もう少しなだらかな階段にならないかと思い、それが１番気になっているところです。バスも回数が少なく、少し考えていただけたらなとは思っています。それは町とは関係ないと思っていました。

（委 員 長）そうした意見も含め、皆さんで議論する委員会にしていきたいと思います。

（委　　員）駅の話になりましたが、奈井江駅が無人化になるという話題や砂川警察署が無くなってしまう話題が出ています。住み良い安全な町とは逆行する方向になるので、声を発することで何とかなるのではないかと思います。そうしたことも会議で話し合えればと思います。

（委 員 長）今日、初回ですが、深く言ってくれた方も居られ本当に有り難いと思いますし、自由に、活発に意見が言い易い委員会にしたいと思います。それに伴い、皆で考え、皆で出来ることであれば、行政や私達が一緒にやっていく会にしたいと思います。

また、私は２期目ですので、各委員の人が楽しみだなと思えるように、少し工夫して議題や議事を進行していけるように進めていきたいと思います。前向きに１つでも２つでも、町が前を向いて行くよう、委員会を進めていきたいと思いますので、出来るだけご参加やご意見について、よろしくお願いいたします。

（松本主幹）次回、開催は 11 月下旬を予定。

（委 員 長）大変、忙しい時期ですが、奈井江町厳しい時期だと思います。皆さんの貴重な意見を、町政、まちづくりに反映させていきたいと思います。今日はお忙しい中、本当にありがとうございました。以上でまちづくり町民委員会を終了いたします。